

# バストス週報

第七百七号  
昭和廿七年十月十九日 発行  
人名義登録  
森 幸一 代理  
バストス自治会  
C.P 26

代誌  
一社六十軒  
外部七十軒  
発行所  
バストス週報社  
RUA PRES. VARGAS C.P 112  
織田 泰 著

廣告は  
週報社へ

## 法主御來植点描

十月十一日午後二時カオリア工の横貫道路に差しかゝる法主一行の自動車七台程望見されると産業会館附近より宿舍石橋邸迄幼稚園スルツホ各裁縫学校の生徒等が両側に並び無慮数千の出迎人で埋めつくされた。二時十五分會館前へ到着。歓迎花火の炸裂する中を法主裏方を先頭に徒歩に出迎人の拍手に目礼を以て答へつゝ、静々と宿舍の方へ歩を移された。一行中の古川智徳師は十六三リ映寫機で先廻りをしてフィルムに納める中々のハイカラな振りである。

三時半に法會が始まったが今迄聞いた経より静かで音楽的を感じがした。誦經燒香がすむと法衣を裏装に替えられた。二方が出座され、先づ法主様が「本日ここに在伯同胞の皆様の一方ならぬ御盡力により久しい間の宿望でありました。先づラールの地に参り御地の皆様と共に用拓先駆者の遺悼法會を執行致しますのは御佛の淺からざる御縁によるものと思ふ次第であります。

惟ふに萬里の波濤を越えて渡伯され千古の原故林に斧鉞を入水奥地へ奥地と開拓の鉤を入水遂に斃れた靈及維新以来数次にわたる國難戦火の爲めに母國の礎石となられた人々の勲功は惜も菩薩が身を捨てて衆生濟度の悲願を行せられたこと。比敵致しませぬ。同胞は感謝の誠心を以て報恩とせられなければなりません。願はば何事につけても御佛の高恩と心に慈身協力します。精進せられ先人の業蹟を發揚して光輝ある世渡りなされます。又物心両面益々日伯親善に盡されまします。一と御挨拶をされる。静かなお声でいかにも衆をやさしくとす。次にお声でマイクの前にお立ちなる。お裏方のお声は麗朗玉の如く美しい。此の度ハフラジルの皆さまの御招きによつてこちらへ参りまして長年この地で御苦勞をなさつた皆様としよにみ佛の御恵を讃えさせて頂くことの出来るのは日んとうに有難いことと思ひます。各地を巡回いたしましたして各方面から感謝



FAZENDAS  
**CASAS PERNAMBUCANAS**  
FILIAIS EM TODO O BRASIL

の言葉を聞き心から嬉しく存じます。皆さまは大層御成功をなすつていらしやいます。此の成功の蔭には婦人の方の並々な御苦勞のおありであつたことを御察し致します。速も乗り切れなれなれと思ふうな事もおありでありました。せう、婦人は涙に脆く感情に脆いものですが、力強く歩く爲めには温いみ佛の手を握られ、て立ち上つて行かぬはなりませぬ。此の度ハの御縁を手がかりとし、此後益々御精進をなさいます。家庭にあっては愛の中心となり、社会に對しては拝み助け合ひ四方の同胞共々御信心遊はす様願上がます。今度こちらへ参ります時お別れの爲め両陛下に御挨拶に伺候します。在伯の皆様のことを中心におかけ遊はして日本人としての誇りを失はない様、又スラジルに居る他の同胞とも仲よくするようにならば、又健康に注意するようにとの皇陛下の御言葉で大層中心づかひをなされまして誠にありがとうございます。生活よい生活をなさいます。お願申上げます。御存じます。

(聴衆一千堂に溢れ寂として産まし)

バストスのみなさま  
こちらには、おなじみのカーカス  
ペルナンブカナスでございませす  
新入荷のすばらしいガラが  
山とつまれてございませす  
お値段は 特價割引中  
ごらんになるだけでも  
この保養！  
お立ちより下さいませ

カ  
サ  
ス  
ペ  
ル  
ナ  
ン  
ブ  
カ  
ナ  
ス  
バ  
ス  
ト  
ス  
支  
店

感謝の詞

過日 東本願寺法主台下並に御裏方御来植に際しましては、歓迎並に諸接待に當られた役員諸氏は、殊食を忘れ、家業を擲って各々部署に就き、任務を完全に御果し下され、御蔭を以て大過なく御旅程の一端に奉仕出来ました事を、厚く御礼申上います。

一般在住者諸賢に於かれましては、充分歓迎の御誠意を以て御信仰の有無に不拘、皇室と御縁深き高貴の方に接し、文化植民地バストスの名を辱しめなかつたことは、誠に御同慶の至りでありませぬ。

不馴の爲め多少の手落があり各位のお心に副はなかつた点もありませうが、私に免じて御寛容の程お願ひ致します。台下並に御裏方の御教示の如く、向後お互ひに心を合せ力を協せ、伯國の爲め祖國の爲めに奉仕することを念じ、御礼のことばと致します。

十月十四日

バストス自治會長

石橋長見

歓迎準備及接待各役員殿

各區々長殿

市内各商社主並代表者殿

一般在住者各位

青年団 各位

「ほとけ」とはどんなものか？

十月十一日 法會のあとの中説教

稲葉随行長大に笑はす

只今法主様裏方様の御話した私が少し敷衍してお話を申上げます。佛教といふかなるものが、又その佛教の内、浄土真宗とはどんな教であるかといふことについて、一時間話します。アランはカトリックが國教であります。基督教は天上の神の愛を信じてイエスの名によつて天國に生れ替ると教へて居ります。神様になるのではなく、神のよき僕となる教であります。佛教は佛になることを教へる宗教である。同じく宗教であるが、趣きがちがふ。その區別を申上げたいのである。そこで、それなら佛になるといふ、その佛様とは何ぞやといふことになる。佛とは支那の文字、インドの國ではブッといふか、その音と支那語をたうたもの、この日本語では之をホトケといひます。支那では覺者といふ、それを何故ホトケといふか、わか

りやすく此の意味を解くと、「ホドケル」といふのであります。私は風呂が大好きで、風呂で小使を困らせることが時々ありました。入浴する時は衣類を全部はたき、人間ほたけといふと何ともいへない心持のものでも。日本の婦人位身体のまわりを色々なるものを纏ふて居るものは、世界中にありません。コレマキ、ハラマキ、長登バン、それから下着をに着た、帯を帯しめたと笑にややくい。ある時私がお嫁さん世話をし、自動車のつたが、お嫁さん盛装のま、で車に酔つて吐き始めた。医師に診てもらつたが、これは酔を余りきやうつに締めますから、そこで帯を解かせて始めて、靴生の思ひがたといふ。僧衣も正式にまとふと、仲々大変なものです。おつとめがすむといふので、衣をほたく、ホドケタ、お方に居るホドケれば、心身ともに爽かになる。これと同じ様に心の中に人は、色々なるものを結びつけて居るのであります。色々なる物を結ぶつけて居る、その諸欲の絆をすつかりたし功きとせいくすのりです。覺者は世の中は常に楽となるあすか川、今、おれは、あすは瀬となる……



見落した大変!

市役所からの通知

告示 (五二年第三号)

バスト六市役所

市長のオールトンにより本日より三十日以後  
下記埋葬者の墓を發掘し、骨は一ヶ所  
に集めて之を埋葬することとす

右期間中に埋葬者に關係ある者の墓  
地を購入せんとする向きは至急申込れよ  
一九五二年十月九日

埋葬氏名は本紙末尾に添附してあります、但し日  
本人日系のみと致しました、本紙は個人に読者がな  
いからです、満五年を過ぎると市役所は土地を  
整理する為の墓地をほり返すこと自覚され存意  
せよ、バスト六には之が極めてです、

アララギ九月号 入選歌 バスト六歌人の部

アララギは日本の最高歌壇、アララギ歌人入選  
一歌十五人の内、十人はバスト六歌人とは心強!

パイネーラ今をまかりと咲くあなまた 阿部 阿鳳

入道雲の湯くさまをみる 小松 修水

秋並めて除草と一つの日産 ショウの  
如き体格あればと思ふ 海 蕙樹

力盡さし悲鳴の如き汽笛きこゆ 浅田 狐舟

又發電所の故障の知らせか 坂 東啓

工場より連れ立ち出づる朝食の  
ベルにさへたが日々を過す 阪 東啓

苛酷なる鶏卵税に裏まき等は 東野 曉風

市長と市会を口を争ふ 高井 愛子

長かりし停電終れば起さまでて 折田 井朔

妻は内職の編物を始む 眞神 唱草

手術をへし老いし夫はみみぢみぢ  
うつらに呻ぶは一人子か名のみ 眞神 唱草

バイヨンと軽々と舞ふまをなれば  
五十といふを人の疑ふ 眞神 唱草

一ミルの銭にホネカを買ふといふ  
子の横顔の逝きし母に背を 眞神 唱草

○ランシャリア野球部員の奇禍  
去る九月廿一日ラ市野球部とバスト六軍の練習  
試合後ランシャリア軍再び中央(青年)軍と試合中  
ランシャリア軍河野重美君三塁を守つてゐる時走  
者と激突して肩甲骨を強打するの奇禍を買ふた  
其後ツパンにて加療しやうやく悩む方に向つたが此  
程関係者に左の如く謝礼を述べて来た因に  
同君はアララギ製系ランシャリア出陣所の主任である

御礼

私儀

先般御地にて野球試合の際不慮の災難に  
遇ひ皆様は大変御迷惑をかけました、あまご  
へ多大の御見舞を頂き厚く御礼を申上ります  
ツパンにて加療後帰宅いたし追々快方に向  
ひ居りますれば不他事御休心下さい、並々有  
ぬ皆様御援助と御看護を頂きまして家  
族一同感泣致して居ります  
早速御礼に参上申す可き処畧儀作ら  
紙上を以て重々有難く感謝致します  
十月十四日

ランシャリア市 河野 重美

アララギ製系 谷口主任並に藤井様  
オールズ大野球軍 西監督様  
中央青年団の皆様  
アララギ製系 藤田 哲及 草系 様  
体育聯盟 太郎田 様  
外 皆々 様

御礼

先般御地球場に於て当野球部河野君  
不慮の災難に遇ひし節は御多忙中の処  
何かと大変御迷惑をかけ又看護御  
見舞と全幅の御助力を賜はりお蔭を以  
て幸無きを頂きました事は当野球部一  
同只々感謝の外ありません  
早速御礼に参上いたす可き処河野君の  
退院早かりし為め連絡不充分にて何  
かと不義理としまして申わけありません何れ  
本人全快の節改めて申挨拶に参上のつ  
もりで居ります、尚此後兵中指導と友好の  
縁深かりん事を願ひ不畧儀紙上に御礼  
申上げます

ランシャリア野球部代表 佐藤 神一



六才以上ならよい、政府が近代農法の普及に努力してゐる証據だ。税金が高いなと申すのひませんと大いに感謝する。トラクターで就働してゐる生徒あり、牛馬の世話をしてゐる生徒あり、農産品加工場で働いてゐる者あり、二日掛りでないと通りの見學は出来ない。此処で作つて使用するホキが一年三千五百本入用を相だが、らせ帯の大きさが想像されよう、砂糖やミリーヨ粉をつまんでなめて見た。種美のよい仔豚一番は魚理なりに頼んでものにした心臓の強い団員があつた、かういふ人材が外國の外務大臣になつて貰つて失地回復を計らうしたら、良いと思つた、バス、トスからとい

生徒と入学させますからよろしくお預けしますと言つて、百キロかゝつたとかお校門をふり返つて見た。これよりカンポナスに向つて百四十キロの行程を汽車にゆだねる。

カンポナス

夜八時到着、駅前一流ホテルに宿をとつたが、ジヤンタは時間外で出来ません、フジネイロは自宅に帰りましたといふ挨拶、仕方がなく日本人旅館をさがし当てる食事にありついた。

この町には雷出さんのお舅が、パイからの通知があつたので翌早朝から業内してもらった、メルカード一巡後農務局の研究部、市外の試験場を見學する。此処は伯國農産品の兩大園、珈琲と棉花に主力を注いでゐるよう見受けられた、郊外ナニキ口の東山農場を視察する、音バストスの試農場にいた千本木技師の案内で通譯をしの説明をきき、戦時中のリキカソンで功高まりたれ相になつたが農業技術面で特異な存在を認められ、その難を逃れた由、畜産品評會で一等になつた牛は死んだ相だがインテオスラ種を固定して畜産家に仔牛を分けてくれるさうだが値はんはバストスで賣買されるより安い、施肥をして等高級に植えた珈琲は立派なものであつた、昨午棉の葉が紅くなつて落ちた病気の原因はまた発見されてゐないが、テキサス種の方が病氣に対する抵抗力が強いので今年はテキサス種を蒔く相だ、この農場の土質はバストスとあまり甲乙がない、時中六のサンチに密植して一アルケル二百アローバの收穫らしい、此処でサウバとカラピツシヨを見付け、政郷に帰つた、よくなつたか、さき覺えた、

口の悪いある団員が「日本人の居る処にはサウバがいるワイ」

旧地帯に珈琲を植えるには強烈な日光の直射を防ぐ爲めに珈琲の被覆植物としてインガ

といふ木を八米位の間隔で植えてあつた畑道にカンキクヨを植えその両側に左シヨンマクマトを植えるとか、ピンの園内侵入を止め、コム輪のカロサで緑の畑道を通るようになすれば兼土流失、道路の破壊防止と一石二鳥三鳥になるさうだ。

果樹園ではリンゴの接木の最中であつた、小ミナピンに水を入れてぶら下げる寄せ接ぎの一方法を得受して貰つた、苗木をカンテイロから小鉢に移す時に使ふこの道具は此の農場の發明新案で斯うしてやれば、この通りうまく行くでせう、と千本木技師がやつて見せた。

農場の案内も一通りすみましたのでこれから東ミリンの方へ参りませう、これを見つて一行の不良老年組、思はずニツツリとつばきまのみにしたね、ユーカーを者にキリンとはたまうねと思つた相です。

瀧と急流の間  
に掛けられた橋を渡つた風景のよい所に醸造場がある、ニコ、顔の主任さんの説明で原料はリオグラン

示米を精白する程良質の酒になるといふ、右を堀り抜いた五粒二米の井戸には深さ七米突の清水が湧いてゐる、一年の需用は三十万本です、ここでピシ話にする時、レットルの右肩に日附が捺してありますが貯蔵法が悪いと一年もたつと変質してしまひます、貯蔵には冷たく暗い所がよろしく、商店の棚に日ざらしになつてゐるのを見ると身を切られるようにつらいです、絶対冷のまま、飲んで頂いて度いですね、さや一杯とうそ、ととされたピンを見ると何と九月二日即ち昨日の日附であつた、(次号で完了予定)

家庭平和  
夫婦和樂

の特效薬を御しらせ致します

1. 避妊体温計
2. ユルノールクリーム
3. ワンタイム (文那婦薬)
4. 婦人用ワセトン球

市買求の節は秘し、秘又、と番号にて中下命令下さい

南天子經堂  
佐々木薬局

東本親寺大谷光暢参下と迎へ参りて

新津牛丸

海の外に迎へまつりて法の師の  
経すむこ息を、夕ぐれを、  
出て参りて迎へ参りて、あつたが、  
カ、いさがる手もあはさるぬ

来年のお正月は  
皆さん！母國情緒を

取り入りませう

祝ひませう？！

するの、こんぶ、しいたけ

かすの子、浅草のり

鱈入り荷中、お値あも

子頭で御座います

アニロコザーカ  
重道商店

### 製糖工場見學記

野球遠征のついでに松ふ  
バンテイヤンテの所の思ひ出

色々説明を聞いて居るうちにふと腦裡に浮  
んだことはバストスにも、こんな工場があつたら、そ  
して原料がカナナだけだとすれば、そう六ヶ敷  
しことでもあるまいとバストス再建に結びつけて  
考へて見たのである。

日本人のみの手で作り出し、作り上げたバストス、之れ  
を守るものも亦日本人であり日系である可きだ  
色々な方面、角度から考へられ実行されつ、  
ある産業内の一節として製糖事業、まじも加  
へられないものかと参考迄にいろいろくまいて見た  
第一に此の工場を運営する要するカナナ畑の  
面積を尋ねると一千アルケル、なり、主流にやれる  
といふ、そして都合のよいことには土地が悪い程カン  
ナの良質を得るといふから、バストスなど日取も適  
しているのではないか（スエド人には此られるが）  
バナナ州は土地がよすぎて木ばかり大きくなるが  
十一キロウで一千キロのカナナから八十キロ平均の  
砂糖一が得られぬに、フラツカカの土地だと十  
五キロウで一千キロのカナナから一ニ〇キロ平均に  
得られる相である。  
此の工場は自己所有のカナナ畑五〇四畝あり  
他は買付とする、値段は一十キロ工場渡し百十  
三并、工場側では歩留りの関係でテラフラ  
ツカカのカナナがよいといひ、アルケルから現在  
では二〇、〇〇〇コントスになる由、一しよに行つたバ  
ンテイヤンテの人はそのではカカよりいいいふなど  
と笑つていた。

之れが最後で  
もうありません

○ 本年はミリーヨ種子が予想外多量出ました  
政府發賣のものは全然入手出来ません  
○ あちこち探し廻つた結果  
ジャカジンニヨ在  
ロツクフェラー農場 出の  
セメンテ

イブツバド種  
ミリーヨ

をアバレーに於て少々入手することができました  
之れは政府配給のイスリット種に比して  
勝るとも劣るものではありません  
○ フロツワットの点も保証された逸品です  
○ もう之れが最後で、もう入手出来ません

御入用のお方は、お早く取りに未で  
下さい。  
バステイヤンテ組合

そこで私は斯う思ふ  
カナナ栽培には余り手がいつぬといふから、バストス  
の農家にカナナ栽培を奨励したい。現在養蚕  
養鶏、西瓜等やうな農家は少面積しか便は  
ないから相場の休閑地帯があるけれど、各農  
家が二三域ツツ利用すると一千域のカナナ畑が  
出来る。勿論順序として産業組合なり自治会  
なりが団体で指導奨励し製糖会社（営本  
家）引込むか又は自らの手で工場を設置する  
とすれば、各農家の収入も増すであらうし、所  
の繁昌も増大するは論を待たないであらう、  
聞くところによるとオリエンテにも相当大きな工場  
があるといふ、其の所は製糖工場大でもつて、  
バストスもかまなく工場を興し、例へば養鶏の加工場  
等進の製糖工場、その他生産面を拡充するなり  
は、發展は期して待つ可く、加之立派な学校と設  
け物心両面に飛躍して行き度いと思ふ。  
私は農業又は工業方面の知識が無い為めに所  
論がちやうはぶであるかも知れぬが、何かの暗示に  
でもならぬかと思ひ、視察の一端を下筆を文章  
に綴つて見たのである、遠征の土産証述に、  
（筆者はバストス野球監督、西尾）





はどうにもならない。翌日から帳簿の引合せ、よ  
 くて一人は新任のジエレンテといふ男につまきり其  
 他は掃作の副業に仕事を切り替へぬはなり  
 なかつた。山は百七十城も切つてあるから、之に  
 ランターをしなければならぬ。此の掃作受請に  
 應じてバスターから出かけた人は左の通りである  
 小林、信太、茅野、清、新谷、佐藤の諸氏  
 は土地のよい新山を、山伐り賃からコイバラから、カ  
 マラタの世話迄バスター三羽鳥合名会社で引受  
 けておくのだから、こんなヨカコタえつとナカバイと  
 思つて来たんだ、之も一種のバイオニアである。  
 (未完)

### 裏方様を囲んで

#### お茶の會

十月十二日 石橋邸食堂

主催はバスター早蕨婦人会  
 本願寺裏方が中出でになつたり何とかして宗教  
 使節のお役目をはなれた会合を値したいものと  
 寄々計劃中であつたが石橋会長の友人も、會  
 員の一人ではあるし、斯ふした文藝方面の相談  
 會に中席を中ゆるし預ふことが出来ればバス  
 トスの名に於て大なる名譽でもあると石橋  
 会長大いに乗り氣になつた。エールの一端に加  
 へる約束をしたが、何が扱て皇太后陛下の御妹  
 様ではあるし、下手なことは出来ぬかと二の足をふ  
 んで居たが幸ひにも御許しがあつて十二日四時より  
 石橋邸一室で「お茶の會」といふ名目で中出  
 席下さつた。出席者 御裏方、稲葉僧正、那  
 山あや子女史、当地側 石橋ト子、吹本菊子、佐  
 々木里女、山本和枝、渡辺きね、藤原八重子、加  
 中千代子、松本春枝 (次号に詳報)

### 古川智徳師を囲んで

これはまた碎けた座談會

十月十二日夜 青年團主催で法主御一行の御附  
 武官(一)格の古川智徳先生と中出ト子で座談  
 會と仰すこととなつた。会場は佐野三階と定め  
 てあつたが停電の爲め、にわかによ報社のサウナと  
 變更夜九時開會、出席者中出ト子、松本、石田、アル  
 ト中瀬、小田清家、フコケン豊田、上田、ウネニ五  
 入江、シヤウ上田、その他 石橋奇峯、工田南峯、佐々木  
 南天、浦紀南子、西、戸田、崎田、浅木、松本、千代子  
 石井向に互に古川師の熱辯に完全に打ちのめされて  
 一了つた (言論内容次号にて)

### 借款の大枚一千コントス

は、どう使はれるか?  
 市長リノペイシヨット氏等の奔走によつて市役  
 所がカイシャエコミカから借入れた虎の子一千コ  
 ントスは、まだ全部受取つていなが、さし当り市  
 役所吏員達の未拂給料の支辨に當てること  
 忽ち二百コント程のものが消えることになるが、そ  
 れでも市長案によると、アベニク、パウリスタクの舗  
 装道路とか、ホストネ、ホエリクルワラの建設  
 とかある由、何れにしても、死に金にならぬ様う  
 まく使用して市民に感謝されて貰ひ度い  
 尚市長の計劃にはカーサ、ラボラなどがある  
 之は何もその金を使はないでも、農務局を動か  
 して設置出来るものだし、農業指導機關  
 こそ是非無くてはなつてものでありう。  
 これ迄の市長は政争と事とし、民生の勤まを  
 強んと点視して来た、一かレほんとうの政治は民  
 の産と土台としたものでなければならぬ。  
 リノ市長は此の点大いにア代市長とちがひ、市  
 民の産をきいて善政を布くことをモットーとして、本  
 人並日系から感謝されている。

### 懸賞

アベニク、パウリスタクに電柱が立ち  
 ました。市長は十月には、電打  
 がつくだろうとほのかに言つた、  
 さう言ふ人、いつか言ふ言ふで、  
 メ功十月末日迄

### 墓地發掘進む開始

十月九日市役所告示第三号によると  
 向ふ一ヶ月内に墓地買収手続しない者の墓  
 地は發掘して一ヶ所に合埋する旨、公示され  
 て居る。日本人関係は左記一四五件である。  
 来る十一月一日及日暮参日には各地より参  
 者が多いから中心部の人には知らせておく、  
 い、之れは何れも死後参年制のものである

- |       |       |
|-------|-------|
| 琴釜五郎  | 琴 若 吉 |
| 吉田かづ子 | 吉田宗一  |
| 岩田文子  | 岩田治市  |
| 佐藤きみ子 | 佐藤光雄  |
| 貫はるみ  | 貫市次郎  |
| 大野久子  | 大野金次  |
- 此の氏名次頁へつづく

死者

家族名

岡崎仙次郎	岡崎音七
武山けい子	武山てる
曾木たかい	瀧内 音吉
山下三平	山下寅松
米沢邦雄	米沢トヨキ (別取)
宮武マサ子	宮武 勝
武山大郎	武山にき
信太栄子	信太 清
山内敏松	山内武彦
笹中みか	ハラケリ・カネジ
山本 宏	山本和一
遠藤美作	遠藤与三郎
大浦秀政	大浦用 松
上井みき子	上井リコ助
山本林藏	スリアソイカノラカ
死産児	櫻餅次郎
よかし・せいじ	よかし・せいじ郎
佐倉辰巳	佐倉よしの
鈴木新造	鈴木急助
越智とみ	越智 守
平井東彦	平井亮一
死産児	米沢ひらみ
興水いつの	興水利国
佐藤伊之助	藤村甚吉
死産児	小倉つよし
隈本信	隈本水男
長尾 勲	長尾次郎
宮村かづ	宮村一郎
黒川一雄	黒川小三次
國松すえの	國松行男
佐藤えん	佐藤常作
死産児	鈴木幸雄
大和次郎	大和エ四郎
死産児	山本寅松
全	大貫伊三郎
久保幸次	久保実太郎
田川とり次	田川 誠
いさあふ久藏	いさあふ貞次郎
荒谷卓一	イカノラカ
渡辺やえの	渡辺友一
羊原かつも	岩崎達志
片山益太郎	片山おやかた
岩垣ヒメ	鎌村兼松
黒田清記	黒田 忍
溝越 修	溝越平八郎
福原きみ子	福原治作

死者

家族名

高田初江	高田 平馬
時川 操	宮坂市太郎
清田しか	山川幸助
川崎要作	川崎与三吉
竹原安次	竹原 恵
田地きん市	田地ゆすめい
遠野さち子	遠野利慶
柳屋儀助	柳屋さえ吉
田部田作太郎	田部田ルネコ
藤田パウロ	藤田花造
佐藤光子	佐藤忠作
宇都宮笑子	宇都宮富男
死産児	初見真造
田中はる	不詳
井上要藏	井上武雄
熊谷幸雄	熊谷信秀
福本ちよし	福本 繁
山中小次郎	山中正七
砂入 豊	砂入 勉
死産児	工江天一
新谷賢一	新谷藤次郎
死産児	佐藤利石門
佐藤みどり	宮村勝良
岡本まさよ	岡本富三郎
田中とみ子	田中憲次
早野邦男	早野金平
石橋幸雄	石橋光雄
大野芳太郎	不詳
澤くよの	富田えう吉
永木たけ子	永木 正
をりし 勉	をりしゆい
長瀬むら	今井茂吉
死産児	小本鶴松
原しんす	原あぢちも
篠内ひろ子	篠内しゆの
渡辺じんネ	渡辺新一
ケセニ	青木 倉
中島源吾	中島徳平
有川幸吉	有川豊助
高井珠よしの	高井敏三
福地かほろ	福地伊太郎
遠藤春江	遠藤安治
大島智二	不詳
上山隆雄	上山明彦
三野くみ	味野 豊
内籠みや	内籠新太郎

死者

家族名

吉田精一	吉田勝雄
宮武常一郎	宮武 勝
沖山さだ	沖山朋巳
後藤テシト	後藤白市
死産児	木林 一郎
砂原一馬	砂原奥造
友池嘉吉門	友池辰雄
宮崎武子	安藤茂雄
大野春次郎	大野金次
村 上もえ	尾形若次
阿部みす子	阿部廣次
大石とよ代	吉丸 竜次
原しゆし	原 春 治
梅田重治	梅田要三
八幡たか	八幡忠三郎
石川みす子	細川茂市
鎌田愛子	鎌田義一
死産児	入之内精次郎
吉月みつ子	青木七郎
植松つや子	植松新一
松本千治郎	松本茂吉
死産児	大仲門益次郎
小招よし	小招好五郎
橋本藤太郎	橋本熊七
原節子	原 春 治
死産児	古賀つとむ
死産児	川口しゆる
寺岡秀秋	寺岡 豊
紫田信男	紫田謙之助
大西マサ子	大西太郎
何丹養治	何丹 明
死産児	トリスノ武界
小園山伝六	小園とよえ
大原信一	大原博一
木口左助	田地豊次
死産児	リシ実次郎
加納とみ	根のりこらけい
寺岡さみ子	寺岡仁平
阪本武男	指垣定一
死産児	茅野鶴吉
那智村藏	那智忠吉
樋口清花	樋口新作
加藤敏太郎	加藤完治
山本マツ	山本為造
小園マサ子	小園たけ江
長瀬清三郎	石原牙太郎